

令和3年3月19日  
国土交通省 北陸地方整備局

## 令和2年度 河川防災ステーション整備計画の登録について

～洪水時等の緊急対応を迅速に行うための拠点を市町村と連携して整備します～

国土交通省は、令和3年3月18日付けで、新たに6箇所<sup>※</sup>の河川防災ステーション整備計画を登録しました。

北陸地方整備局管内では、令和元年東日本台風で被害を受けた信濃川水系において、新たに2箇所が登録されましたのでお知らせいたします。

- 北陸における《河川防災ステーション整備計画》新規登録箇所 以下2箇所  
(新規登録箇所を含め、北陸地方整備局管内の河川防災ステーションは8箇所になります)

- ・新潟県長岡市<sup>ながおか</sup> 長岡地区河川防災ステーション (信濃川)<sup>しなのがわ</sup>
- ・長野県長野市<sup>ながのし</sup> 長沼地区河川防災ステーション (千曲川)<sup>ちくまがわ</sup>

- 長岡地区及び長沼地区河川防災ステーションの整備内容  
【国土交通省】

- ・水防活動や緊急復旧活動を行う上で必要な土砂などの緊急用資材を事前に備蓄し、資材の搬出入等の作業面積を確保するために「河川防災ステーション」の整備を行います。

【長岡市及び長野市】

- ・洪水時に、市町村が行う水防活動や災害が発生した場合に緊急復旧等を迅速に行うための基地となる「水防センター」を河川防災ステーション内に整備します。

平常時には、地域の交流・憩いの場として活用するとともに、防災学習の拠点としての利用を推進することで、地域の賑わいづくり及び防災に対する意識向上を図ります。

※今回、登録を行う計画の概要については、別紙のとおりです。

添付資料

- 別紙1 令和2年度 河川防災ステーション整備計画登録箇所一覧
- 別紙2 北陸地方整備局管内「河川防災ステーション」位置図
- 別紙3 計画の概要
- 参 考 河川防災ステーションの概要

同時発表記者クラブ  
新潟県政記者クラブ  
新潟県政記者クラブ  
長野市政記者クラブ  
長野県庁会見場  
その他・専門紙

【問い合わせ先】 北陸地方整備局 TEL025-280-8880 (代表)

河川部 河川計画課長 後藤 健 (内線3611) (直通025-280-8958)

河川計画課長補佐 浅見 和人 (内線3612) //

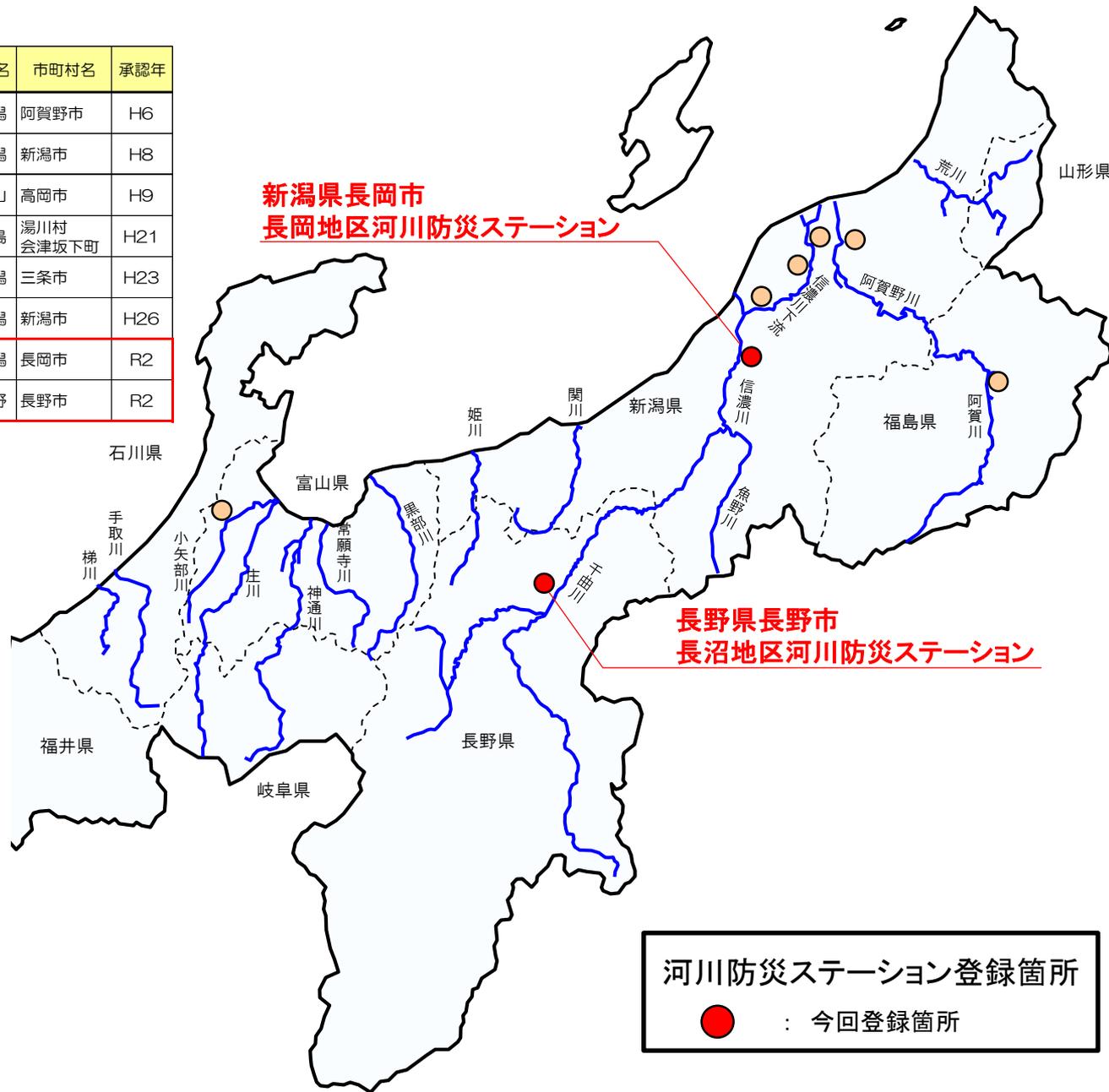
令和2年度 河川防災ステーション整備計画登録箇所一覧

水系名	河川名	都県名	市町村名	箇所名	事業主体	備考
しなのがわ 信濃川	しなのがわ 信濃川	新潟県	ながおかし 長岡市	ながおか 長岡地区河川防災ステーション	国土交通省 ながおかし 長岡市	別紙3-1
しなのがわ 信濃川	ちくまがわ 千曲川	長野県	ながのし 長野市	ながぬま 長沼地区河川防災ステーション	国土交通省 ながのし 長野市	別紙3-2

## 北陸地方整備局管内「河川防災ステーション」位置図

## 河川防災ステーション登録一覧 8箇所

No.	施設名称	河川名	県名	市町村名	承認年
1	下里地区河川防災ステーション	阿賀野川	新潟	阿賀野市	H6
2	赤渋地区河川防災ステーション	信濃川下流	新潟	新潟市	H8
3	土屋地区河川防災ステーション	小矢部川	富山	高岡市	H9
4	佐野目地区河川防災ステーション	阿賀川	福島	湯川村 会津坂下町	H21
5	上須頃地区河川防災ステーション	信濃川下流	新潟	三条市	H23
6	天野地区河川防災ステーション	信濃川下流	新潟	新潟市	H26
	長岡地区河川防災ステーション	信濃川	新潟	長岡市	R2
	長沼地区河川防災ステーション	千曲川	長野	長野市	R2



対象河川：一級河川 信濃川水系信濃川 【国管理河川】

市町村名：新潟県長岡市



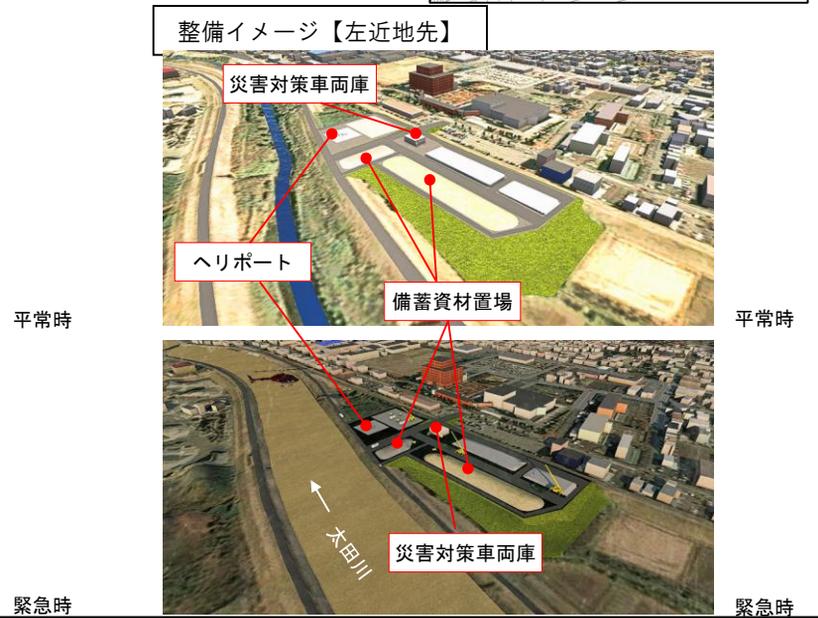
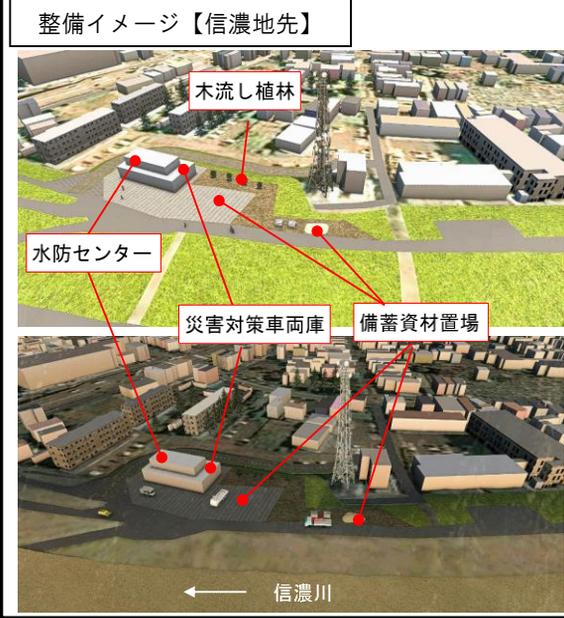
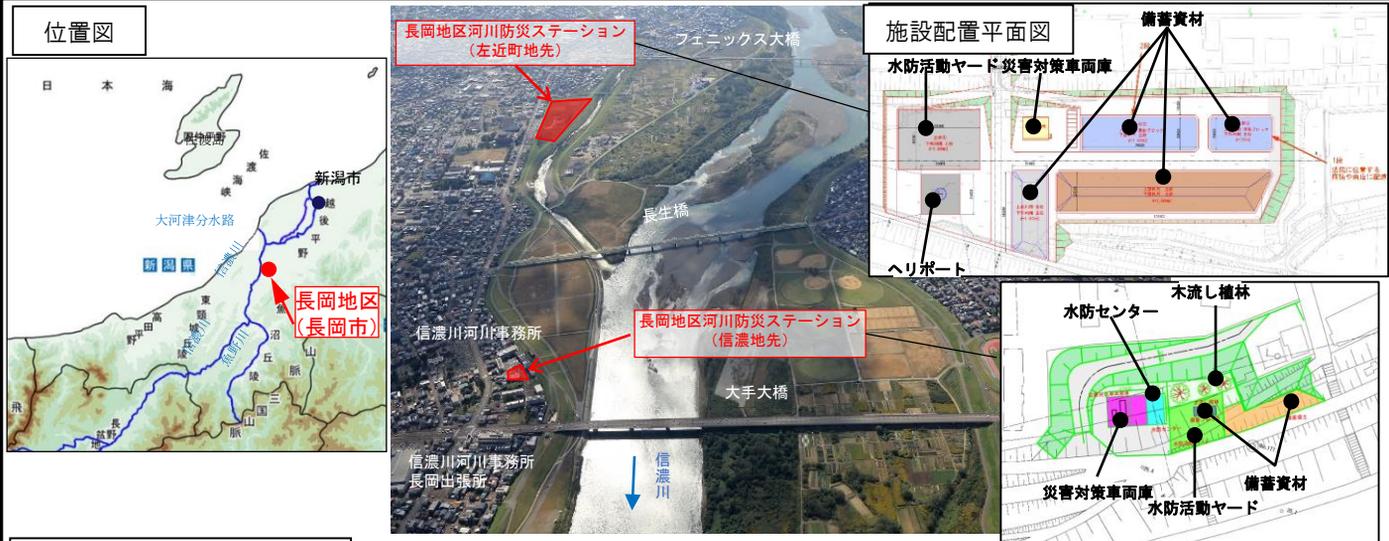
### 1. 概要

信濃川では、令和元年東日本台風に伴う洪水により、家屋等の浸水被害が発生しました。長岡地区河川防災ステーションは、信濃川水系の洪水被害を最小限とするため、災害時の緊急復旧活動を行う上で必要なコンクリートブロックなどの復旧用資材の備蓄、災害対策車両庫、ヘリポート等の整備を行うとともに、長岡市が水防センターを設置するなど、災害時の活動拠点となる施設です。

また、イベント時の活用のほか、防災訓練や防災学習の場としての活用など、平常時の利活用を推進することで、地域の賑わいづくり及び防災に対する意識向上を図ります。

### 2. 整備内容

国土交通省：盛土造成、緊急復旧用資材(根固めブロック等)の備蓄、ヘリポート 等  
 長岡市：水防センター



※今後、工事实施のための詳細な設計等を実施することにより、実施内容を変更する場合があります。

対象河川：一級河川 <sup>しなのがわ</sup> 信濃川水系 <sup>ちくまがわ</sup> 千曲川【国管理河川】

市町村名：長野県 <sup>ながのし</sup> 長野市

位置図



## 1. 概要

千曲川では、令和元年東日本台風に伴う洪水により家屋等の浸水被害が発生しました。長沼地区河川防災ステーションは、信濃川水系の洪水被害を最小限とするため、災害時の緊急復旧活動を行う上で必要なコンクリートブロックなどの緊急用資材の備蓄や、駐車場、ヘリポート等の整備を行うとともに、長野市が長沼支所、水防センターを設置するなど、災害時の活動拠点となる施設です。

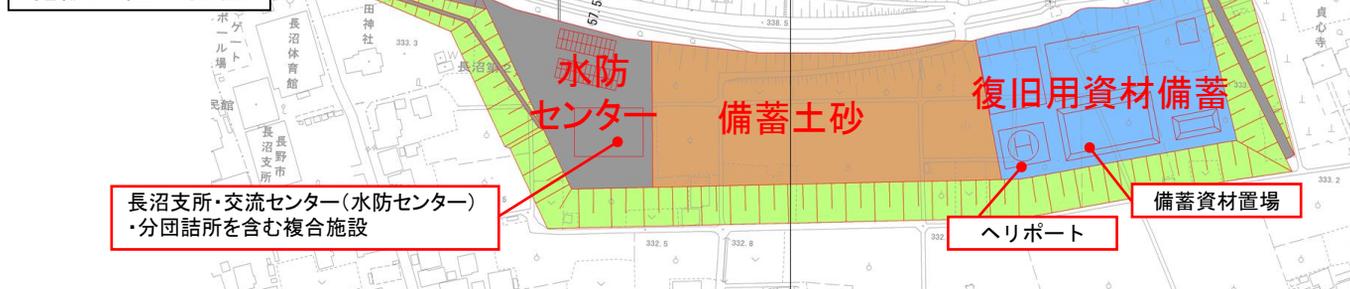
また、イベント時の施設の開放、防災訓練や防災学習の場としての活用など、平常時の利活用を推進することで、地域の賑わいづくり及び防災に対する意識向上を図ります。

## 2. 整備内容

国土交通省：盛土造成、緊急復旧用資材(根固めブロック等)の備蓄、ヘリポート 等  
 長野市：水防センター(長野市長沼支所と兼用)



施設配置平面図



整備イメージ



※今後、工事実施のための詳細な設計等を実施することにより、実施内容を変更する場合があります。

# 河川防災ステーション

～地域で守るふれあいのスペース～

「河川防災ステーション」は、水防活動を行う上で必要な土砂などの緊急用資材を事前に備蓄しておくほか、資材の搬出入やヘリコプターの離着陸などに必要な作業面積を確保するものです。洪水時には市町村が行う水防活動を支援し、災害が発生した場合には緊急復旧などを迅速に行う基地となるとともに、平常時には地域の人々の交流や憩いの場として、また河川を中心とした文化活動の拠点として大いに活用される施設です。国土交通省では、今後も地方自治体と連携を図り計画的かつ積極的に整備していきます。

## 《 「河川防災ステーション」の設置位置 》

設置位置は、次のようなことを考慮して決めます。

- ① 水防センターなどの関連施設と河川防災ステーションとの役割分担
- ② 重要水防箇所の状況
- ③ 過去に大きな被害を受け、水防活動や緊急復旧の実績のある区間及びその状況
- ④ 想定される水防活動及び緊急復旧活動に関わる輸送路の状況
- ⑤ 水防災意識の向上が期待できるよう、平常時にも一般の利用が活発に行われ、河川を軸とした文化活動の拠点として活用されるとともに、河川事業の展示活動、研修などが展開できる地域

## 《 新規に整備を要望する市町村は、最寄りの河川事務所等に相談を 》

「河川防災ステーション」を整備する際は、洪水時の水防活動及び緊急復旧活動の拠点として整備されるものであり、設置位置、規模、事業効果、その他必要事項を記入した整備計画を作成し、水管理・国土保全局長に登録する必要があります。

「河川防災ステーション」は、河川管理者と水防管理者が一体となって整備する施設ですので、市町村等と調整が図られた計画が設置要望の必須条件となります。新規要望を検討されている市町村につきましては、河川管理者（直轄河川については国土交通省河川事務所等、補助河川については都道府県土木事務所等）にご相談ください。

